

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ココファン相模大野新築工事	階数	地上6F
建設地	相模原市南区相模大野七丁目717番9外	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、商業地域、準防火地域、防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	1,205㎡	作成者	株式会社 硯川設計
建築面積	728㎡	確認日	2018年1月15日
延床面積	3,014㎡	確認者	株式会社 硯川設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 道路面の一面に歩道上空地を設け、また2階以上の建物を極力道路境界から後退させて、圧迫感を減じることに努めた。また、周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すため、敷地周囲に極力緑地を配置した。		
Q1 室内環境 居室部分の騒音レベルを40dB (A)以下とした。 住居部分の採光を確保するために開口部の大きいサツの採用とした。 居室の屋光制御のため、カーテンレール、底の設置を計画した。	Q2 サービス性能 設備系統は、メンテナンス性を考慮した計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を極力設けることで、暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー カーテンを適宜設置し、遮熱性を高めた。	LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水形器具を採用する。	LR3 敷地外環境 適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される